

3 学校教育の充実

基本目標1 「ふるさと廿日市」に愛着と誇りをもち、社会を生き抜く力を育む学校教育の充実

社会が激しく変化する中で、次世代を担う子どもたちが、「ふるさと廿日市」に愛着と誇りをもつとともに、生涯にわたり、自ら学び、考え、協働して課題を解決する力を身に付けることができるように、「主体的に」、「協働的に」学ぶ取組を進めます。

【令和4年度当初予算の主な事業】

(1) 社会のニーズに応じた教育の推進

○ ICTを活用した教育の推進

(学校教育振興一般事業) 1,636万6千円(昨年度:3,844万円)

(小学校ICT活用教育推進事業)

1億1,708万5千円(昨年度:8,024万8千円)

(中学校ICT活用教育推進事業)

6,097万7千円(昨年度:4,779万円)

文部科学省が示す「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画(2018年度～2022年度)」にある「4校に1人のICT支援員」を配置し、ICT機器の効果的な利活用のための人的支援を行うとともに、教職員を対象とした研修を企画し、その講師を務めるなど市全体のICT活用教育の推進を行います。

また、小・中学校の児童生徒が、高度情報通信社会に対応できるよう、国のコンピュータ整備計画を参考に、ICT機器の整備とパソコンの整備を継続するとともに、ソフト面でも整備を継続します。

○ 英語教育の充実(国際理解教育事業)

5,748万5千円(昨年度:5,445万円)

ALT(外国語指導助手)を全幼稚園・小・中学校に配置します。

(2) 子どもたちの状況に応じた教育や心の教育の推進

○ 学校図書館の環境整備(学校図書館活用推進事業)

2,700万円(昨年度:2,280万円)

寄附金を活用し、小学校6校及び中学校3校の学校図書館の環境整備及び書籍の更新を行います。

○ 安心して学べる学校づくり(学校教育振興一般事業)

2,585万2千円(昨年度:2,516万7千円)

生徒指導指導員、生徒指導相談員、特別支援教育アドバイザー、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等専門家の支援を受け、相談体制を充実させるとともに、条例で設置したいじめ問題対策連絡協議会、いじめ防止対策委員会を活用し、いじめへの適切な対応とともに、いじめの未然防止に努めます。

○ **学校における働き方改革の推進（学校教育振興一般事業）**

2,314万5千円（昨年度：2,240万9千円）

学校における働き方改革の推進のため、教務事務支援員及び部活動支援員の配置を拡充します。

○ **不登校児童生徒への支援（不登校総合対策事業）**

1億2,731万円（昨年度：1億2,749万2千円）

子ども相談室に、青少年指導員を配置し、不登校児童生徒の適応指導に関わる相談、学習指導等を行うことにより、不登校児童生徒の学校復帰や社会的自立を支援するとともに、子どもつながり支援員を各校へ配置し、気になる児童・生徒にきめ細やかな支援を行います。

また、小・中学校の特別支援学級に在籍する発達障害等のある児童生徒に対し、子どもつながり支援員、子どもつながり看護員を配置し、特別な教育的支援を行います。